

2010参院選特別寄稿

針路を問う

今回の参議院選挙で3年前の選挙との主たる違いは、総理大臣の交代という大きな出来事があったにもかかわらず、前政権からの懸案はほとんどすべて積み残しとなったままでの選挙突入となったことである。実際、先の国会でも政府提出の法案の成立した割合は低かった。

ところで、前回の参議院選挙の争点はどうと、「消えた年金」に端を発した年金問題が中心であった。また、当時は景気回復基調の中であつたとはいえ、その実態は国内まだら模様で地域間の格差拡大が懸念されていた。それもあって、三位一体改革と規制緩和を進めた小泉内閣から広がった地域格差問題も争点の一つとなった。そして、昨年8月の衆議院選挙では、民主党は、自民党の「地方分権」を一步進めた「地域主権」というマニフェスト(政権公約)を

5

岡山大大学院 社会文化科学研究科教授 中村 良平



なかむら・りょうへい 1955年高松市生まれ。京都大工学部卒、筑波大大学院修了。岡山大経済学部教授などを経て2006年から岡山大大学院社会文化科学研究科教授。専門は地域公共政策。主な著書に「都市と地域の経済学」。

閉塞感破る地域主権を

掲げ、それが政権交代後の重点施策にもなっていた。地域主権戦略大綱が6月22日に駆け込みで制定されたが、争点の表舞台から遠ざかったことは否めない。

そういったときに各党が掲げている地域に関する施策は地方経済にとって重要である。地方分権あるいは地域主権と地域経済の関係は、表裏と言つよりも不即不離であるからだ。

一部の地方高速道路での無料化の社会実験が始まったが、地方経

済にとつては高速道路料金も重要な争点の一つである。高速道路は一般道に比べて高質なサービスを提供することから対距離の有料制であるのだが、さらに収入

最大化を図るには、時間や場所、季節の需要に応じた弾力的な運賃を設定するのが経済理論である。そういったときに全国一律の低料金や瀬戸大橋部分の割高な料金設定によって生じる地域経済効果はどのようなものか。それ

に加えて財政負担、さらには環境

とが明らかとなった。中山間地をもつ地方にとつては、環境資源による活性化は残された最後の手段と言つても良いであろう。具体的施策の議論が望まれる。

環境や健康福祉、観光分野などへの投資によってGDP(国内総生産)を伸ばすことは確かに望ましい戦略であるが、これらは同時に地域特性の強いものである。したがって、こういった事を可能にするには、住民税や法人事業税などについても地方に裁量権を与え

る。果たしてその効果のほどは

る域外マネーの獲得も考えるべきである。そして、その投資の結果が何処に波及していくのか、開放度の高い地域経済にとつては特に重要なことである。

国際的な財政不安から来る経済見通しの不確定性、財政的裏付けなきマニフェスト至上のばらまき政策のつけ、社会保障費の膨らみと消費税問題、そしてこれらを乗り越えるための経済成長戦略がクローズアップされている。その中で地域経済の果たすべき役割は何なのか。

確かに国際競争力を高めるには羽田空港の国際ハブ化といつた首都圏への重点投資が必要であり、費用対有効度を顧みない地方への過剰投資は慎むべきである。しかし、いつまでも成長の主役が首都圏で、それが牽引して地方にマネーを再配分して

問題との関係で地域のあるべき総合交通体系を議論するべきであろう。

その環境問題を地域にとつてプラスにする戦略も具体的に議論されるべきである。環境投資による

地域経済の成長は重要な視点であるが、果たしてその効果のほどは

どの程度か。筆者も2年ほど前に真庭市を対象に木質バイオマス燃料の出荷と利用による経済効果を

分析したが、それによって地域経済の発展にも一定の効果があるこ

る。果たしてその効果のほどはどの程度か。筆者も2年ほど前に真庭市を対象に木質バイオマス燃料の出荷と利用による経済効果を分析したが、それによって地域経済の発展にも一定の効果があるこ

また地方にとつて、その投資の原資を何処に求めるかは大きな課題である。国の補助金に依存するのか、それとも自らが稼ぎ出すのか。地域から海外への付加価値の高い製品のみならず、差別化された地域固有のサービスの移出によ

る。果たしてその効果のほどはどの程度か。筆者も2年ほど前に真庭市を対象に木質バイオマス燃料の出荷と利用による経済効果を分析したが、それによって地域経済の発展にも一定の効果があるこ

また地方にとつて、その投資の原資を何処に求めるかは大きな課題である。国の補助金に依存するのか、それとも自らが稼ぎ出すのか。地域から海外への付加価値の高い製品のみならず、差別化された地域固有のサービスの移出によ

る。果たしてその効果のほどはどの程度か。筆者も2年ほど前に真庭市を対象に木質バイオマス燃料の出荷と利用による経済効果を分析したが、それによって地域経済の発展にも一定の効果があるこ

(おわり)